

## 【特集】

### スポーツで元気なまちに

は、要介護認定率が下がる自治体も出てくるなど、一定の効果が得られています。

今後、10年間で500人を目標に体操指導士を養成する予定です。

さらに、市内全域がキャンパス、すべての市民が学生となる、「介護予防大学(仮称)」を設立します。

学長が市長、事務局が介護保険課で、食品スーパーなど多くの人が集まる場所で15分程度の出前ミニ講座と、保健センター4階をフ

ローリングに改修して毎日実施する本講座、その中から要望に応じて市内のどこへでも出張する、出前講座で構成されます。

講座は、運動、栄養、社会参加に配慮した内容で、市民が健康寿命を延ばす動機づけになることを目指します。

### スポーツが交流のきっかけに

公民館は地域の交流の場であることから、軽スポーツや体操による交流を楽しんでもらおうと、市内11か所の公民館では、独自の教室を開催しています。

教室は、誰でも楽しくできるこ



基本動作から丁寧に指導(写真は中央公民館のスポーツ吹矢教室)

とを念頭に、人気競技のグラウンド・ゴルフをはじめ、スポーツ吹矢やポールウォーキングなどのニュースポーツも網羅した幅広い内容です。

参加を希望する人は、市報で教室の告知をしているほか、お住まいの地域にある公民館に問い合わせてください。

また、野田市いきいきクラブ連合会(野田市老人クラブ連合会)では、健康づくりのためにゲートボールやグラウンド・ゴルフ、

ニュースポーツなどの大会を開催しています。

同会では、スポーツ以外にも芸能・カラオケ大会も開催していますので、興味のある方は同会事務局の高齢者支援課に問い合わせてください。

### スポーツイベントを開催

市が主催する「青少年柔剣道大会」や「手づくりフェスティバル」、「市民駅伝競走大会」、「グラウンド・ゴルフ大会」、「関宿城マラソ



知識や技術だけでなく人間力を高める指導が必要

ン大会」は、参加者が練習成果を発表する場であると同時に、応援者などの集客による経済的な効果があります。

平成28年度の実績では、関宿城マラソン大会は721人、市民駅伝競走大会は820人の参加があったことから、その応援のための来場者を見積もって、2倍、3倍の集客があったものと考えられます。

### 指導の心構えを一律に

市から優れたスポーツ競技者を輩出する土壌を作るには、まずは優れた指導者の育成が必要であることから、市では「スポーツ指導者講習会」を行っています。

野田市体育協会に加盟する団体から毎年1団体ずつ、指導者を志す方に対して実技と座学で指導方法を伝授しています。

28年度は、少林寺拳法の指導者講習会が9月に開催され、指導者を志す高校生など12人の方が参加しました。

技術指導に加え、子どもたちがスポーツを通じて人間的に成長できるようにアドバイスしています。